



[花き部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

2. ラークスパー白花新品種「SW55－3－2」の育成

[要約]

「SW55－3－2」は、白花優良品種「シドニーホワイト」の形質を引き継ぎつつ、より早期から開花する、ラークスパー白花新品種である。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 野菜・花研究室、作物・経営研究室

[連絡先] 電話 086-955-0277

[分類] 技術

[背景・ねらい]

岡山農研では、これまでに花色がピンク及び藤色の系統を育成したが、生産者から白花あるいは青花品種の育成を求められていた。また、ラークスパー白花品種「シドニーホワイト」は、切り花品質が優れる優良品種であるが、種苗の入手が困難になっている。そこで、生産者からの要望の高い促成作型に適した白花新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 2010 年に市販品種から選抜を行い、個体選抜、系統選抜を経て、育成した品種である。
2. 育成した新品種は、「シドニーホワイト」より、開花期が早く、草丈が短く、側枝が少ない（表 1）。「シドニーホワイト」より開花期が早いことから、在圃期間及び加温期間が短くなるため、2 月下旬出荷作型に適している。
3. 育成した新品種の花色は白で、がく片の中央が黄緑色に着色する。花形は八重の普通咲きで、いずれも「シドニーホワイト」と同じである（図 1）。
4. 実需者からの評価は高く、取扱い意向も高い。また、アレンジメント及び冠婚葬祭に使用できるという意見が得られている（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 2 月出荷の作型に適しており、11～12 月出荷の作型では草丈が短くなる可能性がある。
2. 本品種は「シドニーホワイト」との区別性が低く、品種登録は困難と判断したため、品種登録出願を行わずに県内普及を図る。



[具体的データ]

表 1 「SW55-3-2」の主な特徴

特性調査項目		SW55-3-2	シドニーホワイト
植物体	草丈 (cm)	118.1	136.3
茎	茎の長さ (cm)	56.3	65.2
	茎の分枝性 (本)	19.0	23.9
葉	葉の枚数 (枚)	22.5	27.5
	葉の長さ (cm)	10.8	11.2
	葉の幅 (cm)	10.2	9.8
	葉の表面の色 (RHS)	Moderate Olive Green (137A-137B)	Moderate Olive Green (137A-137B)
花序	花序の長さ (cm)	42.7	51.2
	1 花序に着生している小花数 (個)	34.8	36.8
花	花の咲き方	普通咲	普通咲
	花形	八重咲	八重咲
	がく片の数 (枚)	19.3	19.9
	最外層がく片表面Aゾーンの色 (RHS)	White (NN155D)	White (NN155D)
	最外層がく片表面Bゾーンの色 (RHS)	Strong Yellow Green (144A)	Strong Yellow Green (144A)
	最内層がく片表面Aゾーンの色 (RHS)	White (NN155D)	White (NN155D)
	最内層がく片表面Bゾーンの色 (RHS)	Strong Yellow Green (N144C)	Strong Yellow Green (N144C)
	花弁部の大きさ	無	無
生態的特性	開花日	2月25日	3月9日
耕種概要 播種：2017年8月21日、定植：2018年10月4日			

表 2 「SW55-3-2」の項目別評価(5段階評価)

	高い 5点	← 4点	評価 3点	→ 2点	低い 1点	平均点
色 ^z	8票		1票			4.8
草姿 ^{xz}	4票	3票	1票	1票		4.1
総合評価 ^z	4票	3票	2票			4.2
取扱意向 ^y	4票	4票	1票			4.3

^z 色・草姿・総合評価：5点「良い」～3点「どちらでもない」～1点「悪い」

^y 取扱意向：5点「取り扱いたいと思う」～3点「どちらでもない」～1点「取り扱いたくないと思う」

^x 本来の出荷時期より遅い7月上旬に評価を受けたため、切り花長が70～80cmと短いものを用いた。



「SW55-3-2」「シドニーホワイト」

図 1 「SW55-3-2」の花

[その他]

研究課題名：岡山オリジナルフラワーの次世代品種の開発

予算区分：県単

研究期間：2013～2017年度

研究担当者：森義雄、土居典秀、笠原有加、山本晃郎